

あわつと感染症情報 (2025-24)

・千葉県安房保健所発
2025 年 6 月 20 日配信

☆今週のトピックス☆

百日咳が流行しています！

安房保健所管内での第 24 週の百日咳の発生届は、9 件ありました。依然として管内の報告数は減少しておらず、注意が必要です。

全国では、2024 年、2025 年は前年までと比べて、10～19 歳が大きく増加し全体の約 50%を占め、0～4 歳の割合が減少しています。2025 年は診断週第 12 週時点で、年齢群別では 10～19 歳が 60.3%(2,532 例)と最も多く、次いで 5～9 歳が 21.0%(880 例)でした。

マスクや手洗い、手指消毒といった基本的な感染症対策を心がけましょう。

！ 百日咳は 5 類感染症・全数把握疾患です。
診断した医師は、7 日以内に最寄りの保健所に発生届を提出する必要があります。



<参考>・百日咳(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/whooping_cough.html

・百日咳の発生状況について(JIHS感染症情報提供サイト)

https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/020/2504_pertussis_RA.html

日本紅斑熱が流行する時期です！

日本紅斑熱は、病原体を持つマダニに咬まれることで感染します。

マダニの多くは、春から秋にかけて活動が活発になり、農作業や草刈りなどで山林や草むらに立ち入る際には、①長袖長ズボンなど肌の露出のない服装にする②忌避剤(防虫スプレー)を使用する③帰宅したらすぐに着替え、シャワーを浴びる、などの対策をしましょう。

このような症状があったらすぐに
受診しましょう！

- ✓ 発熱
- ✓ 発疹
- ✓ 刺し口
- ✓ 頭痛
- ✓ 倦怠感



！ 日本紅斑熱は 4 類感染症です。
診断した医師は、直ちに最寄りの保健所に発生届を提出する必要があります。

<参考>・日本紅斑熱について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/eiseikenkyuu/virus/madani.html>

☆安房管内の感染症発生状況☆

感染性胃腸炎

安房

県内

★安房管内における2025年第24週(令和7年6月9日～令和7年6月15日)の定点医療機関あたりの報告数は0.00人と前週1.75人と比べ、減少しました。

(県全体の報告数は4.58人と前週4.95人と比べ、減少)

<参考>・感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/norovirus/>

水痘

安房

県内

★安房管内における2025年第24週(令和7年6月9日～令和7年6月15日)の定点医療機関あたりの報告数は0.00人と前週0.50人と比べ、減少しました。

(県全体の報告数は0.66人と前週0.38人と比べ、増加)

＜参考＞・水痘(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/varicella/index.html

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

安房

県内

★安房管内における2025年第24週(令和7年6月9日～令和7年6月15日)の定点医療機関あたりの報告数は0.25人と前週0.00人と比べ、増加しました。

(県全体の報告数は3.58人と前週3.98人と比べ、減少)

＜参考＞・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(厚生労働省)<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-17.html>
・溶連菌(A群レンサ球菌)感染症(国立成育医療研究センター)<https://www.ncchd.go.jp/hospital/sickness/children/yorenkin.html>

❀ 安 房 管 内 の 全 数 届 出 疾 患 ❀

全数届出疾患:全ての医師の方は、対象の感染症の診断を行った際に、掲載の届出様式により最寄りの保健所に届け出る必要があります。

＜2 類感染症＞ ★結核 1件

結核は、結核菌によって発生するわが国の主要な感染症の一つです。

結核菌は主に肺の内部で増えるため、咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多いですが、肺以外の臓器が冒されることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。

特に、小児では症状が現れにくく、全身に及ぶ重篤な結核につながりやすいため、注意が必要です。

＜参考＞結核について(千葉県) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/

＜4 類感染症＞

★日本紅斑熱 2件

日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに刺されることで感染するダニ媒介感染症です。

マダニに刺されてから、2日から8日程度の潜伏期間を経て発症します。主な症状は、発熱、発疹、マダニの刺し口にできる痂皮です。

＜5 類感染症＞

★百日咳 9件

百日咳菌の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作(痙咳発作 けいがいほっさ)を特徴とする急性の気道感染症です。

★侵襲性肺炎球菌感染症 1件

ヒトの鼻咽腔に定着し、飛沫や直接感染を介して広がる感染症です。

気道感染症(肺炎、気管支炎、中耳炎、副鼻腔炎など)に加え、侵襲性感染症(菌血症、髄膜炎など本来無菌的な部位に菌が侵入することで起こる疾患)を引き起こします。2歳未満と65歳未満で頻度が高いです。感染予防として、手指衛生や咳エチケットに加え、高齢者では予防接種が可能です。

＜参考＞・侵襲性肺炎球菌感染症(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-09-02.html>

【配信元】

千葉県安房保健所(安房健康福祉センター)

あわっと感染症情報

awat-news@mz.pref.chiba.lg.jp